

れんけいと支援

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face,

Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112代 http://www.tch.toyama.toyama.jp / 発行日 2023年3月



ポリファーマシーチームの紹介

薬剤科

黒田 季花



「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」

これは国民がポリファーマシーに関心を持つための啓発パンフレットの見出しです。高齢者に変多量の薬が処方されている実態とそれに伴う問題が明らかになり、ポリファーマシーへの取り組みが求められています。入院はポリファーマシー解消の好機であり、当院では今年度、入院患者さんの睡眠薬についてベンゾジアゼピン（BZ）受容体作動薬に焦点をあて、精神科医師と薬剤師でポリファーマシーチームを組みました。BZ受容体作動薬では転倒・骨折、健忘、せん妄、依存形成などの有害事象があり、フレイルの助長にも繋がるため高齢者への使用を控えたい薬です。BZ受容体作動薬の使用を減らす方向で検討した結果、次の2点を全診療科の医師に発信し、病棟担当薬剤師からも医師に提案を行うことにしました。

①3種類以上のBZ受容体作動薬を服用している

場合は精神科を受診する。

②BZ受容体作動薬を3日間以上中止した

場合は再開せず中止のままとする。

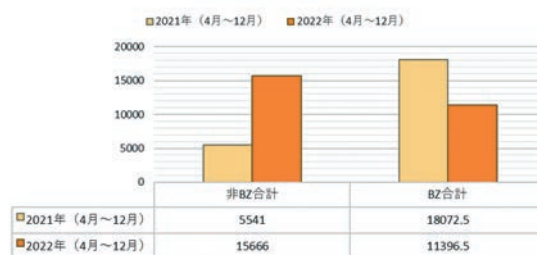
また不眠を訴える入院患者さんにはオレキシン受容体拮抗薬の使用を院内共通の指示としたことで確実にBZ受容体作動薬の使用を減らすことができます。（グラフ参照）今後は他の薬効群についても順次取り組んでいきたいと考えています。

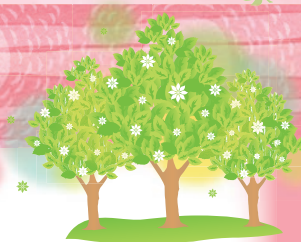
ポリファーマシーへの取り組みは病院全体で行うことに加え、地域と連携していくことが必要です。地域全体でポリファーマシーに取り組み、富山の健康寿命を延ばすという大きな目標に向かっていきます。



ポリファーマシーチームメンバー

入院処方数量(錠)





1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

※会場またはWEBでの参加が可能です。

日 時：4月11日（火） 19：00～20：00 場 所：当院3階 講堂

- 1) 症例検討『高齢者に生じた骨軟骨腫型の爪下外骨腫の1例』 形成外科 宮下 松樹
2) ミニレクチャー『直腸脱 ―その病態と治療選択―』 外科 中村 友祐

直腸脱とは直腸が肛門を超えて外側に脱出するものをいい、通常は腸管壁の全周で粘膜層、あるいは全層が肛門括約筋の外へ滑脱した状態を指す。直腸脱は直腸肛門疾患の0.2-0.5%ほどの発生率であり、高齢者や女性に多く、疼痛や出血、QOLの低下などの症状が認められる。直腸脱の成因としては、①S状結腸の過長、②深く広いダグラス窩、③直腸後壁の支持組織の弱体化、④緩く開大した肛門括約筋、などの複合的要素が絡み合っていると考えられている。治療は手術でのみ根治が望め、経会陰式手術と経腹式

手術に分かれる。経会陰式手術には主にThiersch法、Gant-Miwa法、Delorme法などがあり、身体的侵襲が少なく比較的に行えるが再発率が高いと言われている。また、経腹式手術には主に腹腔鏡下直腸つり上げ固定術、メッシュを用いたWells法などがあり、再発率は低いものの身体的侵襲が大きいことが特徴である。今回われわれは当院で治療経験した直腸脱症例を基にして、直腸脱の病態と治療選択について述べる。

予告

日 時：5月9日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場 所：当院3階 講堂

- 内 容：①症例検討 1例（担当） 脳神経内科
②ミニレクチャー 1題（担当） 呼吸器内科

地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生方の利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしくお願いいたします。一度登録していただければ今後継続してご案内をメールでお送りいたします。

tfm2168@tch.toyama.toyama.jp（ふれあい地域医療センター 地域医療連携室）

2. 定例の研修会、看護研修 ※COVID-19の状況を見ながら再開の予定です。

3. 看護研修 ※COVID-19の感染状況により、今後の予定が変更となる場合があります。

《新任看護職員研修》

当院では令和5年度採用の新人看護職員に対し、新任看護研修を実施いたします。地域の医療機関や施設に入職される看護職員の方に関しても当院職員と共に研修を受けていただければと考え、下記の通り計画いたしました。ご参加を希望される場合は、事前の申し込みが必要です。ふれあい地域医療センターへご連絡ください。（TEL：076-422-1112 内線2989）

【参加に関するお願い】

※募集は1研修につき7名程度としますので、一施設から

の参加は1名程度とさせていただきます。

※院内では、マスクの着用をお願いいたします。服装は、白衣または動きやすい服装でお越しください。

※資料等の準備がありますので、必ず各研修開催日の1週間前までにお申し込みください。

欠席される場合は、必ずご連絡ください。

※受付は、各研修の開始10分前までをお願いいたします。

※駐車場は外来患者さんが利用されますので、研修にお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

技術研修の内容と日時

場所：3階 講堂

No	内 容	開催日	時 間	研修形式
1	安全確保の技術（医療安全）	4月4日（火）	9：40～12：00	講義・演習
2	与薬援助技術 経口薬の投与 麻薬製剤について 皮下注射 中心静脈内注射 輸血 誤薬防止の手順等	4月4日（火）	13：00～16：30	講義・演習
3	与薬 静脈内注射 点滴静脈注射 採血	4月5日（水）	8：30～12：30	講義・演習
4	感染防止の技術	4月5日（水）	13：30～16：50	講義・演習
5	食事援助技術	4月10日（月）	13：30～15：00	講義・演習
6	活動・休息援助技術	4月14日（金）	13：30～15：00	講義・演習
7	輸液ポンプの準備と管理（ME）	4月17日（月）	13：30～16：30	講義・演習
8	排泄援助技術	4月18日（火）	13：30～15：00	講義・演習
9	呼吸管理研修（基礎編）	6月15日（木）	13：30～15：30	講義・演習
10	救急蘇生法	7月13日（木）	13：30～17：00	講義・演習

※No.9およびNo.10の開催時間は変更になる場合があります。



研修医のひとりごと

臨床研修医
高野 健太郎



医師国家試験から早2年。初期臨床研修も終わろうとしている。長かったようでもあり、短かったようでもある2年間だったが、とても充実した時間であったように思う。研修医になりたての頃は診療の際に戸惑うことも多く、自信をもって患者さんに接することができていなかったように思う。では2年経った今はどうかと言うと、決して自信满满とはいえないまでも、多少の自信をもって診療にあたることができるようになったのではないかなと思えるのである。私が成長

できているとするならば、それは富山市民病院での経験によるものであって、指導してくださった先生方の力によるものだ。今後の医師人生の礎となる貴重な2年間に富山市民病院で過ごせたことを大変うれしく思う。

富山市民病院で過ごすことができる時間も残すところあとわずかとなった。悔いを残さぬよう、自己研鑽に励みたい。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

4月

科 名	医 師 名	不 在 日	科 名	医 師 名	不 在 日
内 科	寺 崎 敏	12日～28日	呼吸器・血管外科	酒 井	5日
	大 田 聡	24日～26日	眼 科	山 田 芳	6日、7日
整 形 外 科・ 関 節 再 建 外 科	堀 井	26日	皮 膚 科	大 村	7日
	重 本	7日、21日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	近 藤	14日
	岡 本	21日	歯 科 口 腔 外 科	寺 島	17日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

小児科からのご案内

当院では小児を対象とした「国産」新型コロナウイルスワクチンの治験にご参加いただける方を募集しています。

現在流通しているmRNAワクチンではなく、他の予防接種でも使用されている不活化ワクチンであること、国産であることが従来との違いになります。対象は生後6か月以上12歳未満、従来の新型コロナウイルスワクチン接種をしていない方で、接種回数は2回です。1年間に6回の来院を予定しており、来院1回につき、負担軽減費が支払われます。プロトコールなど詳細な内容は、希望者に対してコーディネーターから説明させていただきます。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。



小児科 和田 拓也

編集後記

3月に入り、暖かい日が続いています。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。ついこの間、新年を迎えた気がしますが、あっという間に春の陽気になりました。病院の周りには、つくしが背を伸ばしていて、季節が変わったことを感じさせてくれています。3月13日からはマスク着用について個人の意思が尊重されるようになり（病院内では、今後もマスク着用をお願いします）、5月には感染症法上の位置づけが引き下げられるようです。今年はコロナ禍も新たな時代を迎えていきそうですね。来年度も富山市民病院、そして「れんけいと支援」をよろしくお願いいたします。

精神デイケア科 渡邊 玲菜



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

